

# 国際アマチュア陶芸展伊万里 2019

## 一般の部

### 鍋島大賞

【作品名】  
悠久の譜



京都府京都市  
増田 淳三 さん

下が乾いたら上を積んでいくという作業を、集中して継続するのが大変でした。『佐賀の三右衛門』の先生方に審査していただける貴重な陶芸展が終わるのは残念ですが、これからも陶芸を続けたいです。

国際アマチュア陶芸展伊万里 2019 が、3月23日から4月6日まで、大川内山の伊万里・有田焼伝統産業会館で開催されました。最終回となった36回目の今回、一般の部に81点、子どもの部に249点の作品が出展されました。

作品展示に先立つ3月8日に審査会が行われ、中里太郎右衛門さん、今泉今右衛門さん、酒井田柿右衛門さんなど5人の審査員が厳正に審査。鍋島大賞など各賞が決定しました。入賞者は次のとおりです（敬称略。学年は出展時〔平成30年度〕）。

#### ◆一般の部

- ▷ 鍋島大賞 増田 淳三（京都府京都市）
- ▷ 優秀賞 木島 瑠璃子（大分県豊後大野市）
- ▷ 特別賞 荒木 織賀（奈良県北葛城郡）

#### ◆子どもの部

- ▷ 優秀賞 副島 優花（大川内小学校3年）
- ▷ 特別賞 大串 歩夢（有田中部小学校4年）
- 副島 那月（大川内小学校2年）

## 子どもの部

### 優秀賞

【作品名】

スペシャルかめ



大川内小学校  
副島 優花 さん

かめの甲羅に家族の顔を描くのが難しかったです。お父さんと弟はかっこよく、お母さんと妹はかわいく描きました。顔が本物のかめとそっくりに出来上がったので、とても気に入っています。



『一般の部』受賞者の皆さん



『子どもの部』受賞者の皆さん



### 人の動き

平成31年4月1日現在

- 人口 54,848人 (-202)
- 男 26,525人 (-97)
- 女 28,323人 (-105)
- 世帯 23,391世帯 (+13)
- ( ) は前月比

この冊子は、1部当たり約41円で作成しています（人件費など間接経費は含まれていません）。また、企業広告による掲載料は、広報伊万里の作成費の貴重な財源となっています。

「新しい元号は『令和』であります。4月1日、菅官房長官による新元号の発表がありました。皆さんの予想はどうでしたか。発表から1か月がたつとともに、私事ですが、広報係に異動して1か月がたちました。この5月号は私の広報伊万里のデビュー戦であり、『令和』になって初の発行でもあり、時代の節目に執筆できるのを光栄に思います。さて、4月21日に市議選があり、8年ぶりに女性議員が2人になりました。実は、今この文を書いている私も、市の広報担当者としては珍しい女性です。縁があつて配属となった広報係。きつと、新たな環境で成長できるチャンスをもたらしたのだと思います。また編集者としては『1年生』の新米職員ですが、女性の目線も取り入れつつ、市の情報や魅力を発信していけたらと思います。（賀）

編集室から